

「新型インフルエンザについて」東京都福祉保健局懇談報告書

日 時 2009年11月19日(木) 10:10~11:20

場 所 都庁第1庁舎21階 会議室

東京都出席者

大井 洋 様 東京都福祉保健局参事(感染症対策課長事務取扱)

小高 晴雄 様 東京都福祉保健局健康安全部感染症対策課防疫係長

加藤 みほ 様 東京都福祉保健局健康安全部副参事(医療体制整備担当)

患者側 全腎協常務理事 栗原

東腎協 小関

ご承知のとおり基礎疾患のある方の新型インフルエンザワクチンの接種が始まりましたが、ワクチンが十分に行きわたっていない状況が、全腎協をはじめ各都道府県に患者さんからの問い合わせがあるため、今回の経緯に至りました。

質問項目

1. 新型インフルエンザワクチン接種に対してまずは医療従事者への接種と腎疾患はじめ基礎疾患を持つ患者と幼児に対して優先的に接種することになっておりますがワクチンが充分行き届くよう対応をとってください。

<回答>各報道により新型インフルエンザワクチンにより過剰な反応に危惧している。絶対基礎疾患の無い健康な医療従事者は、必ずしも接種の必要性はない。ほとんどが弱毒性のため適切な処置をすれば数日で回復できます。また、新型インフルエンザにかかってもマスクをして被害を拡大させない処置を取ることが必要。

2. ワクチン接種に際する費用負担について 23区や市での公費助成が行われているところもあります。その自治体の公表と東京都としての公的助成等を検討してください。

<回答>各区市町村で違いがあります。

3. 基礎疾患を有する患者が、かかりつけ医療機関における「優先接種対象証明書」の交付に係わる周知と、かかりつけ医で接種できない場合患者はどこかの医療機関へ行けばよいか指導を徹底してください。

<回答>基本的には、透析医療機関。透析医療機関でできない場合は、「優先接種対象証明書」を透析施設で記入してもらい、各区広報にて医療機関を確認して行う。

4.基礎疾患を持つ患者で新型インフルエンザの感染が疑われる場合は、直ちに簡易検査やPCR検査での判定を行ってください。

＜回答＞検査については、医療機関の医師の判断となります。PCR検査は遺伝子検査で、検査結果が出るまで6時間ほどかかるため、現在ではほとんど検査していません。

5.東京都においてタミフルなどの治療薬の十分な備蓄をおこない、感染が報告された際は直ちに治療薬を供給してください。

＜回答＞国でもタミフルは、備蓄しておりますが、東京都でも200万人分の備蓄がありません。

東腎協の対応と注意点

- ・ 患者さんや患者会から問い合わせがあった場合は、落ち着いて対応すること。
- ・ 透析施設でワクチン接種をしない場合で、接種を希望している患者さんに対して「優先接種証明書」を透析クリニックで記載してもらい区広報等で発行されている医療機関に電話で問い合わせをする。
- ・ 新型インフルエンザの正体は、すでに解っているが、ワクチンの副作用等は、まだ明確にされていない。ワクチンを接種しての死亡者数が8人となっています。ワクチン接種のことばかりが報道されており、そのことに惑わされず、副作用についても患者・会員に説明することも必要。

報告者：小関 盛通